

「カンジダ抗原」 検査受託中止のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、標記項目につきましては測定試薬の販売中止に伴い、令和2年5月29日をもちまして検査受託を中止させていただきますので、取り急ぎご案内致します。

先生方にはご不便をお掛けすると存じますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

検査中止項目

- 1592 カンジダ抗原

代替検査項目

- 3128 カンジダマンナン抗原

項目コード	検査項目名	検体量	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値
3128	カンジダマンナン抗原	血清 0.8mL	3~5	134 144 免疫	ELISA	0.05未満 (U/mL)

※フィブリン除去時に竹串を使用すると、高値傾向を示す場合がありますので検体の取り扱いに充分ご注意ください。

最終受付日

- 令和2年 5月 29日(金)

カンジダマンナン抗原

深在性カンジダ症は、易感染性患者に発症する日和見感染症の 1 つで、深在性アスペルギルス症と並ぶ真菌による主要な感染症です。

カンジダ症は悪性腫瘍、臓器移植、自己免疫疾患などの易感染性宿主に合併することが多く早期診断および早期治療が重要です。

カンジダの細胞壁の主要な構成成分であるマンナン抗原の検出は、深在性カンジダ症の補助診断において、有用な方法であることが報告されています。

本検査は、ELISA を用いることにより血清中のカンジダマンナン抗原を特異的かつ高感度に測定することができ、カンジダ感染症の早期診断に有用です。

項目コード	項目名	検査方法	検出抗原	特徴
1592	カンジダ抗原	ラテックス凝集法	易熱性糖蛋白抗原 (真菌細胞壁内成分)	・リウマチ因子や耐熱性糖蛋白の影響を受けやすい
3128	カンジダマンナン抗原	ELISA法	マンナン抗原 (カンジダ細胞壁主要構成多糖体)	・リウマチ因子の影響を受けない ・特異性に優れている